

いまべつ 495



玉入れ競技のようす

赤 白どっちが多いかな？

今別保育園（社会福祉法人三笠苑 佐藤和義理事長）の第1回ふれあい運動会が、9月3日雨のため、町立体育館で行われました。

園児たちは障害競走、徒競走、紅白玉入れ、お遊戯など家族の前で元気な姿で活躍し楽しい1日を過ごしました。

小鹿正義氏が無投票再選

=小鹿町政二期目スタート=

9月13日任期満了に伴い告示された今別町長選において、現職の小鹿正義氏が無投票で再選しました。10月13日からは小鹿町政二期目がスタートします。

健全なまちづくりのため

一層精進に励み町民とともに頑張りたい

このたびの町長選挙には、町民の皆さんのご支援をいただき無投票再選となりました。心から感謝申し上げますとともに、無投票再選ということは私の責任も倍加

するものと考えています。財政が厳しい時代、何としても皆さんの負託に応えるよう一層精進に励み頑張る所存であります。

前一期四年間は、国の財

政事情で今までになく歳入が6億円も減り、町の財政もまさに極限状態です。そこで、人件費で3億3千万、その他も頑張つて切りつめ、歳出を計5億3千万削減しましたが、それでもまだ

一期目の施策を継続

私は、前一期目を通し今後も、常に町民との対話を心がけ町民の立場で考え、ともに歩む姿勢で、町民の総意を行政に反映していくつもりであります。そして

町民が、個性豊かな充実した人生を送れる社会の実現



新井田選挙管理委員長から当選証書を受け取る小鹿町長

を目指したいと思っております。そのためにも、一期目の政策を継続し、財政再建への赤字施設の改善。

大規模通年農業の普及。
新幹線駅開業を見すえた
海岸部の観光道路整備。
融雪溝と合併浄化槽の整備促進。

以上、二期目の公約とし、一層充実するよう努めたいと思っておりますので、さらなる町民各位のご指導とご協力をお願いいたします。



政事情で今までになく歳入が6億円も減り、町の財政もまさに極限状態です。そこで、人件費で3億3千万、その他も頑張つて切りつめ、歳出を計5億3千万削減しましたが、それでもまだ



平成17年度 今別町生きがい健康づくりと敬老の集い

『2005 すすめよう健康いまべつ21』～減らそう塩分 増やそう野菜と運動を～

9月14日開発センターにおいて、「今別町生きがい健康づくりと敬老の集い」を開催し、70歳以上の方の長寿を祝うとともに、町民の健康づくりについて認識を高めました。

式では、小鹿町長から「敬老の集い」部門と「生きがい健康づくり」について表彰状と記念品が贈られました。

敬老の部門表彰

▼白寿者(99歳) 1名

(明治39.4.1) 今別 坂本ヨシ

▼米寿者(88歳) 19名

(大正6.4.1) 今別 大正7.3.31までの出生者

今別 佐藤フミ・秋元とし

西田 鳴海こま・小鹿壽郎

特養 阿部しめよ・田中トシエ

山内キヌコ・横山キミヨ

張山よこ

浜名 澤田こよ

大川平 平山リキ

二股 相内豊作

鍋田 相内キヨ

関口 高橋千代

村元 小山内原作・小鹿ツヤ

大泊 中村香代・阿部喜衛門

砂ヶ森 藤巻しめ

喜寿者(77歳) 26名

(昭和3.4.1) 昭和4.3.31までの出生者

老人クラブ加入者のみ

白鳥 佐藤才太郎

曙 中嶋典子

成田りせ子・小山内ハマ

田中巳代治・梅田昭子

品が贈られました。

式典後は、アトラクション第一部の今別保育園児によるお遊戯、第二部の人権ミニコンサート(あづまたくみ&ブリーズ)「夏の思い出」など10曲が披露され、参加した皆さんは笑顔いっぱい楽しい時間を過ごしました。

▼新婚者(婚姻50年) 6組

(昭和30.4.1) 昭和31.3.31

今別 中井博芳・きぬ夫婦

南 哲夫・しずゑ夫婦

中嶋忠三郎・恵美子夫婦

中嶋貞夫・みつゑ夫婦

小鹿 勲・つよい夫婦

山崎 澤田政光・ミツ夫婦

青森県高齢者知事顕彰伝達

39.3.31までの出生者

大川平 小鹿サワ

88歳到達夫婦(夫婦のどちらか一方が大正6.4.1) 大正7.3.31

までの間に出生しかつとも満88歳以上となる夫婦

今別 佐藤光雄・フミ夫婦

(敬称略)

平成17年度長寿者番付表 (基準日：平成17年9月8日)

男性部門			
順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	小倉正廣	96	襲月
2	勝野五助	95	今別
3	宮越専藏	93	大川平
4	中嶋勝三郎	93	今別
5	田中久次郎	92	大川平
6	能戸常信	91	西田
7	梅田清一	91	今別
8	吉田太助	91	大泊
9	田中武五郎	91	大川平
10	宮本基	91	村元

女性部門			
順位	長寿者氏名	年齢	地区名
1	小鹿サワ	99	大川平
2	坂本ヨシ	98	今別
3	藤巻コヨ	98	砂ヶ森
4	成田タミ	97	なかやま荘
5	村上志ま	97	大川平
6	村川みゑ	97	二股
7	小鹿とせ	96	大川平
8	梅田ひて	94	今別
9	相内たき	94	二股
10	澤田よしえ	93	今別

生きがい健康づくり部門表彰

健康づくり標語

◆小学生の部

◎今別町長賞

『一本でも 吸うと次々 手がでるぞ』

6年 阿部 篤子

◎今別町健康づくり推進協議会会長賞

『虫歯きん そうきはっけん あなたをすくう』

6年 木村 元気

◎今別町教育長賞

『好ききらい 絶対だめだよ びょう気になるよ』

5年 神 大樹

◎優 秀 賞

『朝起きて しょくじをたべて 学校へ』
『朝食を 食べればあとで 元気でる』

5年 宮 越 すす乃
6年 宮 本 亜来

『めざせ 病気になりにくい けんこうな体』

5年 田 中 萌

◆中学生の部

◎今別町長賞

『禁煙しよう 自分のためかんきょうのため』

2年 神 瑞希

◎今別町健康づくり推進協議会会長賞

『受けましよう 定期健診 早期発見』

2年 泉 光

◎今別町教育長賞

『未成年 たばこ、お酒は はたちから』

1年 川 村 真奈美

◎優 秀 賞

『禁煙は 自分もまわりも 体にいい』

2年 蝦 名 竜樹

『塩分糖分 健康第一 ほどほどに』

2年 上 野 星

『体調管理 自分でしっかり 確認を』

2年 佐々木 彩華



歯科保健優良児

▼3歳〜就学前の幼児

今別

・藤田 未来(5歳児)

(保護者・祥宏)

・平野内晃大(5歳児)

(保護者・和生)

浜名

・五十嵐龍斗(4歳児)

(保護者・謙)

▼今別小学校

今別

・藤田 葵(1年)

(保護者・祥宏)

西田

・佐渡 継美(6年)

(保護者・慶剛)

浜名

・木村 千鶴(3年)

(保護者・真治)

山崎

・太田 悠也(1年)

(保護者・正)

奥平部

・田中 深雪(1年)

(保護者・直樹)

今別

・阿部 周平(3年)

(保護者・由紀子)

・三上 朝子(3年)

(保護者・一彦)

大川平

・田中 裕大(3年)

(保護者・裕文)

村元

・宮本 啓樹(1年)

(保護者・雄一)

砂ヶ森

・藤巻 鴻士(1年)

(保護者・均)

・藤巻 岬(3年)

(保護者・和哉)

奥平部

・山田 晃大(2年)

(保護者・基)



保健協力員功労賞

保健協力員として10年間

活動した方

・八幡町地区：佐藤 かね

・大川平地区：平山 妙子

・二股地区：秋田 恵

・山崎地区：太田きみ子

・寝月地区：小倉 啓子

・網不知地区：横岡 文子

ラブいまべつ会員からのおたより

故郷のネプタで盛り上がった夏祭り！

このほど、ラブいまべつ会員で愛知県犬山市羽黒明に在住の高橋利成さん（鍋田出身）から、元気に活躍されている様子のお便りが届きましたのでご紹介します。

前略、先日はネプタのビデオを送っていただきありがとうございます。当地、犬山市羽黒では毎年8月第1の土曜日に、羽黒コミュニティ主催の夏祭りを行っています。毎年色々なことを取り入れていますが、今年は是非、青森のネプタ祭りをとの提案があり青森出身の私に声がかかりました。当地の人達は、実物のネプタ祭りを見たことのない人がほとんどで勿論、扇ネプタは知らない人ばかり。模型のネプタを見ながら素人が絵も描き作りました。子ども達も・・・と言う声が出て、児童センター（学校が終わってから子ども達を預かる施設）の子ども達にも絵を描かせてこどもネプタも作りました。

また、婦人会の人達がハネトの笠も手づくりし、参加者は50人以上でした。そして、送って頂いたビデオから音をカセットテープに取り、音を流して「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声とともにやぐらの周りを回りました。

今までにない賑やかな夏祭りとなり、見る人も参加する人も大変喜んでくれました。来年は、もっと参加者を増やしネプタも色々作ろうと町民は頑張っております。私も久しぶりに故郷を思い出して楽しい一日となりました。素人写真でありよく撮れておりませんが、素人ネプタの写真を送らせていただきます。

高橋さん大変ありがとうございました。これからもお元気で活躍ください。町では、ラブいまべつ会の皆さんから近況報告などのお便りをお待ちしています。



自前のネプタ衣装もすばらしい！町内会の皆さん



見事な手づくりの扇ねぶた

岡山国体 フェンシング競技

青森県代表チーム健闘!!少年男子ベスト7・成年男子ベスト8



上段は成年男子の皆さん。下段は少年男子の皆さん

9月9日から岡山県玉野市で行われた第60回国民体育大会フェンシング競技で、今別町出身の選手達は、全国の強豪を相手に、健闘し“フェンシング今別”の強さを印象づけました。

この大会では、少年男子メンバーとして大馬義明選手（今別高校）、澤田稔章選手（同）、澤田昂太郎選手（青森高校）の3選手が活躍しベスト7に、さらに、平成13年宮城国体青森県少年男子で優勝したメンバーの、阿部秀嗣選手（専修大学）、大馬匡選手（日本体育大学）、戸嶋愛樹選手（拓殖大学）が成年男子メンバーとして活躍しベスト8にと、それぞれ入賞しました。

今別川

— 自然の川をめざして —

「イワナ（岩魚）— その一 —」 第七話

明け方の夢うつつの中で、ふと「日本の川からイワナが消える日」という題の本を見たような気がしました。何でもあり、と言う世の中ですが、もうそれが現実になくなっていくかも知れません。川の釣り人に一番親しまれてきたのがイワナです。イワナ釣りのプロと自認されている方も多いと思います。しかし今は、それぞれの穴場で釣り上げた後は根絶しかねないというのが本流や小沢の姿でしょう。

ヤマメと住み分け上流に住む習性でした。大物は、人を寄せつけない藪の中、からみ合った広葉樹の枝が昼の空を暗くしている所、淵を作る竹わらの茂み、倒木や木の根など複雑に入り組んだ流れの中に潜んでいました。餌についてはどん欲。川虫、木から落ちる虫類、蛙、へび、蟹、水の中にいるものなら何でもくらくらこつこつとする。しかし、山林の伐採大型林道のほか様々な開発という近代化の仕組みの中で、川の姿は昔の面影をとどめていません。今別川、増川なども上流は川床が上昇し、単調な浅瀬。伐採後の土石流を防ぐ砂防ダムで、さすがのイワナも住みかなくなりました。大型ダムがあちこちに出来た時代から、私たちは魚道すらあきらめていました。たとえばある

観光ラインに面した小さな川は、ヤマメ、イワナ、マス、の宝庫と呼べる溪相でしたが、ある日突然、海沿いの道路近くの流れのすぐ上に、大きなコンクリートの壁が立ちふさがっていました。それによってこの沢は魚が海から上がることのない、死んだ川 となったのです。観光という名の無計画の典型といえるでしょう。

いわゆる自然体験プログラムに参加する小学生たちは、「イワナ釣りが一番楽しかった」と言うようです。ダムにさえぎられた小さな空間でも、小型化して生き延びようとする本能、水滴が流れ落ちるところなら、崖でもよじ登ろうとする執念を持つイワナを子どもたちのDNAは察知しているようです。

自然のイワナと共存できる川づくりの手立てを作りたいものです。小さな淵にいる、小さなイワナを見かけても心が和みます。たくさんイワナなどが住む川の流れがあれば、私たちの心は豊かに、命満たされるでしょう。



澤田 瑞穂さん
（今別八幡宮宮司）

駅伝競走大会

郷土の和と心

第13回県民駅伝競走が9月4日青森市で開催され、県内47市町村代表選手376人が健脚を競いました。

平成の大合併後の初めての大会（昨年の66市町村から47市町村に19自治体が減少となった）で、選手達は郷土の誇りを胸に懸命にタスキをつなぎました。

正午の号砲と共に県観光物産館アスパムをスタート。8区間33.8キロをタスキをつなぎ県総合運動公園を目指しました。

この日の天候は、残暑がやわらぎ気温21.5度の絶好の駅伝日和となりました。各区间を走る今別チーム選手達は、沿道に詰め掛けた家族や友人などの声援を受け、心一つに最後まで懸命にタスキをつなぎ、町の部16位、総合28位と大健闘しました。

走り終えた選手達には、ねぎらいの言葉や拍手が惜しみなく送られていました。

今別チーム大健闘！
心一つに最後まで
つないだタスキ

2区(3.8キロ)



男子中学生 今別中3年
澤田伸也さん

1区(4.6キロ)



男子高校生以上
東京理科大学2年
綿谷貴志さん

今別チーム
12

スタート

7区(3.2キロ)



女子中学生以上
青森北高校1年
嶋中由佳さん

8区(3.8キロ)



男子中学生 今別中3年
小鹿裕樹さん

ゴール

第13回市町村対抗

青森県民



健脚でつなげ

金子光雄監督は、「選手の皆様が大変健闘し、今別町の夕スキを最後までつなぐことが出来ました。本当にうれしい限りです。今後も計画的に練習を重ね、レベルアップするよう選手スタッフ一同一丸となり頑張りたいと思います」と抱負を述べていました。
今別チームの皆さん大変ご苦労様でした。

4区(6.1^分)



男子高校生以上
青森大学2年

川村北斗さん

3区(4.6^分)



男子高校生以上
仙台育英高校3年

綿谷智明さん

5区(2.5^分)



女子中学生以上 今別中3年

小鹿舞弥さん

6区(5.2^分)



男子高校生以上 (浜名)

川村一樹さん

思い出の校舎で同窓会 ～50年の節目を母校で祝う～



8月20日「海峡の家ほろづき」において、昭和30年度婁月中学校卒業第一期生の同窓会が24人の参加で行われました。

「海峡の家ほろづき」は、婁月中学校が今別中学校と統合し廃校となり、その後改築され、平成7年7月町営の宿泊施設として利用されています。

「婁月中学校を卒業し50年の節目を祝い、母校で行いたかった」と話す發起人の小鹿良子さん(村元)。会場では、全員で校歌を斉唱、50年ぶりの再会とあって懐かしい昔話に花を咲かせていました。特に「統廃合で母校がなくなっている中、こうして宿泊施設として残していただきとてもうれしい」と皆さん感激。またの開催を約束し盛況のうちに終了しました。

今別町綱引きクラブは、「05闘魂砂～夢交流綱引き大会」と銘打った綱引き大会を旧二股小学校校庭で行いました。

大会には、当町から80人が出場し、見物客も50人と閉校した校庭に久しぶりに歓声がこだましていました。

出場者はジュニア、一般男女混合5人一組で両部に分かれ、砂地で綱を引き合い、勢いが増すほど砂に足をとられ最後には綱と平行に横になってしまつなど、見物客から笑いや拍手が絶えず起こっていました。

砂～夢交流綱引き大会



今別町社会福祉協議会(嶋中賢一会長)は、9月7日青森県生命保険協会から寄贈された福祉巡回車の贈呈式を行いました。

福祉巡回車寄贈される



青森県生命保険協会は、平成3年から社会貢献活動の一環として募金活動を行い、青森県各市町村社会福祉協議会へ福祉巡回車を寄贈し、今年で15回目となり累計34台を寄贈しています。

贈呈式では、青森生命保険協会高原康彦会長から「在宅サービスなど地域福祉に有効利用していただきたい」とあいさつ、続いて嶋中会長は、「地域福祉充実のため、そして町民が安心して住める地域づくりのため、大切に有効利用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

今別高校では、8月30日131人の生徒が参加しジャガイモ収穫祭を行いました。

生徒たちは、春に植え付けたジャガイモがどうなっているのか楽しみにしながら掘り取り作業に挑戦しました。

収穫した粒ぞろいのジャガイモ906キロの収穫量に全員「すごい!」と歓声をあげていました。

早速、豚汁に入れ全員で採れたてを味わいました。後日、ジャガイモは、老人施設などに贈ることになっています。

8月21日、農園オーナーの家族連れ150人が、収穫祭を楽しみました。

当日は、雨の中の収穫祭でしたが10家族ほどがジャガイモ掘りを体験しました。今年は、Lサイズ以上のイモが多く、作業中大きなイモが掘り出されると歓声が聞こえ、家族らは収穫の楽しさを味わっていました。

特に、7月の強風で被害を受け、収穫が遅れたスイートコーンは、糖度14・8%と甘みも十分で各オーナーにとっても好評でした。



実りの秋 荒馬の里体験農園収穫祭



きらめき講座開催

もっと知りたいなあー自然のつながり



今別小学校では、9月2日第4回きらめき講座を開催しました。
岩木山自然学校の高田敏幸さんを講師に「つながり」と題し行われた講座は、3年生から6年生までの79人の児童が参加しました。
高田先生は、「生きていく中で色々なつながりがあり、自分も地球に乗っているんだと実感してほしい」と話し、児童らが楽しく参加できるように体験活動を通して、協力して環境を守っていくことの大切さを講演しました。
体験活動は、児童が動物になり食物連鎖を体験するゲーム、10円玉の上に水滴を乗せ水の表面張力を体験し水の限界を知るゲームなど行ないました。木村こころさん(4年)は、「食物連鎖ゲームがおもしろかったです。ゲームのほかに色々なことがわかってすごく勉強になりました。もっとゲームをやってみたかったなあ。つながりについてもっと調べてみたいですね」と感想を述べていました。

奥入瀬の自然を満喫!

一荒馬っ子スクール「十和田湖奥入瀬ウォーク」



教育委員会主催の「荒馬っ子スクール十和田湖奥入瀬ウォーク」が、8月28日行なわれ28人が参加しました。
この日は、晴天に恵まれ石ヶ戸から子ノ口まで奥入瀬川沿いに約13キロのコースをゆっくり歩き、時折立ち止まり、指導者の木村清次先生から奥入瀬の自然の営みを学習しました。

奥入瀬川からのそよ風と木々の香りがとても心地よく、参加者は「来てよかった。リフレッシュした」などとても感動していました。また、銚子大滝前での昼食では、「滝を見ながらのおにぎりは格別においしい」と満足の様子でした。

参加者の山形ちえみさんは、「奥入瀬を歩くのは初めてで、13キロ歩けるかどうかわざら不安だった。何とか歩くことができました。奥入瀬の自然を満喫し明日への活力にしたい」と笑顔で感想を述べていました。

「交通安全メッセージ」の伝達 ～秋の全国交通安全運動～

9月14日、役場町長室において蟹田地区交通安全協会(対馬政美会長)から、当町へ「交通安全メッセージ」が伝達されました。

これは、全国交通安全運動が9月21日から30日までの10日間実施されるにあたり、関係機関・団体との連携を密にし交通安全対策を積極的に展開するためのものです。

当町では、高齢者の交通事故防止 夕暮れ時の歩行中と自転車乗用中の交通事故防止 シートベルトとチャイルドシートの正しい着用徹底などを重点項目としたメッセージを積極的に展開するものと誓いました。



今別を探検しよう!

＝地域子ども教室＝

8月5日、地域子ども教室では、読み聞かせグループ「こでまりの会」の協力を得て「今別を探検しよう!」と題し、お寺と神社の違いを学習しました。12名の参加者は、本覚寺、正行寺、今別八幡宮を見学しそれぞれ説明を受け、その後、アスクルの公園でゲームなどをし、おにぎりを食べ解散しました。

子ども教室では、初めての外での活動に、子どもたちはのびのびと楽しんでいました。みなさんも参加してみてください。

連絡先: 子どもサポートセンター
(中央公民館内) ☎35-3757



今別小&北海道知内小 楽しく交流学習

今別小学校では、9月13日友好町の北海道知内小学校と交流学習を旧大川平小学校で行いました。

交流学習は、4年生46人(今別小16人・知内小30人)の参加で行われ、名刺カードを交換し自己紹介をしたり、釣り堀で釣りを楽しみました。

また昼食時には、お母さん方の協力で子どもたちが釣った魚を焼いてもらったり、おにぎりや豚汁も作ってもらったりと、子どもたちはとてもおいしそうに食べ大満足の日となりました。



今別町商工会からのお知らせ

☆ 合格おめでとう ☆

第137回全国商工会連合会珠算検定合格者

1級 川村 茉以 (今別中1年)

4級 宮本 拓也 (今別小4年)

労働保険の手続きはお早めに!!

10月は「労働保険適用促進月間」です。

労働保険(労災保険と雇用保険)は、農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用している場合、その事業主には加入の義務が発生します。(手続きを行わない場合、職権により強制適用される場合があります。)

- ・労災保険...業務災害及び通勤災害により負傷した場合補償を行う。
- ・雇用保険...労働者が失業した場合、生活の安定のため失業給付等を行う。

【お問合せ先】

ハローワーク青森 ☎017-776-1561
〒030-0822 青森市中央2丁目10-10

平成18年度生 学生募集

～青森県立青森高等技術専門学校～

1. 募集科目名及び募集人員
高卒者コース(普通課程)

科名	募集人員	訓練期間
電気工学科	20名	2年
インテリア・サービス科	20名	1年
建設システム工学科	20名	2年

2. 願書受付期間

平成17年10月27日(木)～11月22日(火)

3. 入校選考日…平成17年12月1日(木)9時

4. 選考方法…◎筆記試験(数学・国語)

◎面接

5. 選考場所…青森県立青森高等技術専門学校

☎: 017-738-5727

今別駐在所からのお知らせ

町民の皆さん直接会場へどうぞ(無料)

犯罪被害者等支援フォーラム開催

～演題「犯罪被害者遺族の心情」～

犯罪の被害者は、直接的被害に加え、精神的被害、経済的被害等多くの被害を受けており、社会全体で支え合うことが求められています。皆さんに対して犯罪被害者支援の重要性を訴えると共に、犯罪被害者遺族の心情等を理解してもらうためフォーラムを開催します。

日時:平成17年10月15日(土)

13:00～15:00

場所:「アピオあおもり」
青森市中央3丁目17-1

講師:山内 久子 氏
現秋田看護福祉大学教授
前弘前大学医学部助教授

【プロフィール】

平成7年に最愛の娘さんを殺害された犯罪被害者の遺族です。事件後は、犯罪被害者遺族との交流や被害者支援フォーラム講演を行っているほか、財団法人犯罪被害者救援基金主催の「犯罪被害者支援に対する提言」で作文を応募し優秀賞を受賞されるなど、被害者支援の必要性を訴え続けています。

【お問合せ先】:今別駐在所 ☎35-2029
蟹田警察署 ☎22-2211

9月～11月まで実施する 道路交通センサス ご協力をお願いします。

道路交通センサスは、道路交通量や車の利用実態などを調査するものです。そのうち、車の利用実態の調査は、不作為に抽出された対象者(一般家庭や事業所など)を調査員が訪問し、アンケート方式で答えていただくものです。

調査実施機関が発行する身分証明書を携帯した調査員が訪問した際は、調査趣旨をご理解のうえご協力をお願いします。

【調査実施機関】国土交通省東北地方整備局
道路部道路計画第二課、青森県道路課

◆行政相談所開設のお知らせ◆

相談は無料で秘密は守ります。

と き 平成17年10月22日 (土)
午前10時～午後3時
ところ 中央公民館

行政相談委員 **成田 りせ子**
(☎ : 35 - 3860)

当日、用事などで来所できない方は、自宅でも相談を受けますので、お気軽にご連絡ください。

知っていますか？「里親」ってなんだろう？

～10月は里親月間！～

ー里親制度にご理解とご協力をー

皆さんはご存知でしょうか？

親の病気や離婚、家出、虐待など様々な理由で、親元を離れて暮らさなければならない子ども達が増えています。このような子どもの9割以上が養護施設など児童福祉施設に入所しています。

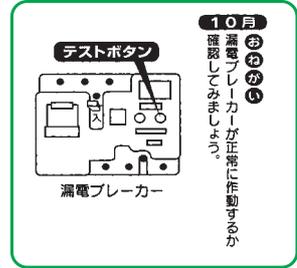
しかし、こうした子どもたちにとって家庭をはなれてあたたかい環境に適應することは中々容易ではありません。その子どもにあった、よりきめ細やかな支援が求められており、「家庭的」という観点から、子どもたちの暮らしを支える、里親の役割が期待されているのです。

◎お問合せ先 青森県中央児童相談所 ☎017 - 781 - 9744
役場環境福祉担当 ☎35 - 2465

暮らしと電気安全

財団法人 東北電気保安協会

漏電ブレーカーをテストしましょう。



まちの行事予報 10 / 1 ~ 11 / 10

イ マ ダ ス

日	曜	行事予定	場所
9	日	2005スポレクフェスティバルいまべつ (主会場：町立体育館) 先月号で10日の予定でしたが、9日に変更になりました。	
15	土	荒馬っ子スクール「パンづくり教室」	
16	日	東青地区地域スポーツフェスティバル	(平内町)
23	日	荒馬っ子スクール「浜名岳登山」	
29	土	荒馬っ子スクール「水口ケツト打上大会」	
30	日	産業と文化のまつり	(開発センター)
31	月	固定資産税第3期納期限 国民健康保険税第3期納期限 介護保険料第3期納期限	
11 月			
1	火	平成18年度就学時健診(今別小学校)	
5	土	荒馬っ子スクール「スケート教室」	(青森市)

表示登記無料相談会開催

土地家屋調査士が、土地の境界問題でお困りの方、その他の建物や土地の表示登記・筆界問題でお困りの方、その他の建物や土地の表示登記・筆界特定手続きなどに関する無料相談を行います。

1. 日 時：平成17年11月6日(日)
午前10時～午後3時30分

2. 会 場：青森市「アウガ5階 研修室」

【お問合せ】

青森県土地家屋調査士会

☎017 - 722 - 3178 FAX017 - 775 - 7067

小野 賢一 (76) 歳 月

お悔み申し上げます

富士 大晟 (孝行) 中 沢

お誕生おめでとうございました



戸

籍

の

窓

口

今別の姿 (平成17年 8月31日)

面積 125.27km²
人口 4,059人 (- 1)
男 1,918人 (- 2)
女 2,141人 (+ 1)
世帯数 1,669世帯 (+ 2)
() 内は前月比

掲載を希望されない方は、届出の時に住民保険担当へ申し出て下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様に申し出て下さい。

(8月1日から31日の届出分)

町の元気人 19



相内紀貴さん(浜名)

仕事を通し福祉活動等に貢献したい

現在、父親が経営する(有)相内工務店を手伝っている相内紀貴さんをご紹介します。

相内さんは、『昨年、私は交通事故で右足を切断し障害者になってしまったが、浜名青年団、商工会青年部の仲間との交流を大切に、互いに協力し活動を頑張りたい。また、自分が障害者のため、仕事を通し福祉活動などボランティアでも地域に貢献したいと思っている。それから、最近家を建てる人が少なく仕事がない時世です。相内工務店では、社員一同協力し合い少しでも存く提供しようとして常に考えていますのでよろしくお願い致します』と話していただき、優しく笑顔がとても印象的でした。

頑張れ元気人!!

町では、20代・30代の元気人を探しています。自薦・他薦かまいませんので、広報担当までご連絡ください。

町のたから 19



H. 15. 7. 5生

太田 義仁さん(西田)の長男
慶吾 ちゃん
 ずるすけまんだの慶吾くん
 大人になっても、少年の心を忘れな
 いで、たくましく育ってほしい。
 (母 礼子さんの願い)



H. 15. 7. 26生

高木 一磨さん(大川平)の長女
優奈 ちゃん
 優しく、明るい子になってください。
 (母 淳子さんの願い)

町に住所を有する3歳以下(平成14年4月2日誕生日以降)の子どもさんを掲載しています。

【食生活改善推進員推薦メニュー】 にんじんケーキ

見た目がとても鮮やか。オレンジとレモンの香りがさわやかでおいしくいただけます。にんじんが意外とたくさん入っているのでカロチンも豊富。簡単にできるのでお子さん、お孫さんと一緒に作ってみてはいかがですか?

【材料(4人分)】

にんじん・・・1と1/3カップ・レモン・・・1/2個・卵・・・1個・ホットケーキミックス・・・200g
 牛乳・・・1/2カップ・水・・・1/3カップ・サラダ油・・・大さじ1
 砂糖・・・大さじ2・バター・・・小さじ1/2

【作り方】

- ①にんじんは1本はすりおろし、残り1/3のにんじんは拍子切りにする。
- ②レモンは皮だけすりおろす。
- ③小鍋にバター・水・砂糖を入れて火にかけ、切ったにんじんを10分ほど煮る。
- ④卵・牛乳を混ぜてからホットケーキ用の粉を加えよく混ぜる。
- ⑤サラダ油・すりおろしたにんじん・レモンを加え混ぜる。
- ⑥⑤を炊飯器で30分ほど加熱する。
- ⑦5分ほど蒸らしてから器に盛る。



健康料理コーナー

【お知らせ】今月は、保健師たよりを休ませていただきます